



キリスト福音教会新年聖会 (2016年1月11日京都パルスプラザ稲盛ホール)



イースト新年聖会新成人の祝福



聖会講師朝子孝一牧師 (右)



岐阜純福音教会元旦礼拝

「聖霊と私」

宇治キリストペンテコステ教会 中原恵子



聖霊様の働きを知ったのは、まだ救われる前。日本人留学生の間で噂になった。「何かね、手をあげて声をあげたりするの。」「イゲンを話すんだよ。」「何それ?」「異言。意味のわからない言葉。」「アメリカやしね、ヘンな宗教は気をつけなあかんね。」その後、ペンテコステ教会員宅でステイをすることになった。

泣いたのは初めの夜ぐらい。教会の人達の愛と優しさの方が身に染みて、手をあげ声をあげようが、異言を話そうが、怖いとは思わなくなった。聖霊様のなせるわざ。愛は恐れをしめだす。ただ一つ、どうしても知りたかったのは、「何で、自分が勝手に潜在意識を働かせて異言を話しているんでないと、わかるのか。」ホストママに聞いたら、悲しいような、困ったような表情で、「You just know it. わかるのよ。」

神様は確かに、私にもわからせてくださった。イエス様を救い主として受け入れてからも、自分が信じる道を進ん

でいた私が、1年後、みことばに従って水のバプテスマを受けた時。水からあがると同時に、今まで語ったことのない言葉が腹の底から突き出た。(これ、絶対自分でしているんじゃない!!)「力」を受けた私は、この体験を握りつつ、歩き続けている。20年以上経った今も。そして、約束の証印を押された私は、それまで認めていた八百万の神々や偶像を、あっさり捨てた。

今も毎日の暮らしの中で、聖霊様はともにおられ、心が汚れると悲しまれるし、きれいにしようと語ってくださる。心を判別するみことばを、思いおこさせてくださる。「聖霊と私」というこのタイトルのように、このお方ともっと親しくなりたいな。そして、「わたしの上に主の御霊がおられる。主が、貧しい人々に福音を伝えるようにと、わたしに油をそそがれたのだから。主はわたしを遣わされた。……主の恵みの年を告げ知らせるために。」イエス様と同じ霊をいただいていることにおどろきつつ、進み続ける。

「神に用いられる秘訣」

在原 繁、津紀子

新年明けましておめでとうございます。今年も遣わされた地で、神様の恵みを一杯受けながら、日本のリバイバルを目指し奮闘してまいりましょう。

「私は福音を恥とは思いません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシャ人にも、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。(ローマ1章16節)

派遣されたアルゼンチンとパラグアイ国境地帯での使命は「福音宣教」です。それは、聖書の「みことば」の「福音」が21世紀の現代でも聖霊様の働きを通して働く「神の力」だからです。「福音」には人生を変える力があり、人の内面を作り変える力があります。どれほど暗い絶望の谷に置かれた人や団体であっても、瞬時にして「光」に移す力が「福音」にはあります。

7年前のこと、サンハビエル教会のR君(28歳)は勉強も仕事もせず、昼夜逆転の生活を続け「怠惰、無気力」、立ち上がれない精神状態に陥っていました。教会の礼拝にはたまに姿を見せたものの、それは長くは続きませんでした。ところが4年前のある青年キャンプで計らずもR君に

会うことが出来、彼を目にした私は、その場で驚天動地の衝撃を受けました。それは、まるで別人で、輝いた眼光と自信みなぎる品格に変貌



の証を見ることが出来ました。ロニー牧師によれば、サンハビエル教会の現在の青年会(30名)リーダーが彼であり、セル集会(友人を集めて行う集会)から最も多くの人を導き、これを弟子化に成功しているリーダーも彼だと言うのです。それを聞いた私は自分の耳を疑い、同時に「これはどうにもならん」という、迷った羊を見捨てるような思いを抱いた不信仰を悔い改めました。彼の人格が新しくされた要因は「福音の力」だったのです。

「イエス・キリストは、昨日も今日も、いつまでも、同じです。」(ヘブル13章8節)

昔も今も、信じる者を新しく作り変えて下さる「福音の力」を真剣に求めてまいりましょう。ご支援に感謝しつつ。

12月26日 記

東日本支援特集

ブンキョウゴスペルセンター 齋藤友紀恵

活動日が二日間という短い間でしたが、私にとって初めての東北訪問はたくさんの祝福と守りの中、イエス様の愛をさらに



知ることができた素晴らしい短期宣教となりました。

私達は男性3名女性2名のチームで、男性チームは中古住宅のペンキ塗り、壁紙の貼り直しなどの大工仕事を

担当し、女性チームは気仙沼ホープセンターのリファン先生が関わられている地域の方々を訪問したり、ランチ会にお招きしハンドマッサージをしました。

皆さんと一緒に過ごして、リファン先生がどれほど今までこの方々との関係作りに心と時間と思いを注いでこられたか感じました。被災地で、ご自分のすべてを捧げて主のために生きておられる先生の姿は、同じ主にお仕えする私にとって本当に励ましでした。神様はこんなにも気仙沼の人々を愛され、人を通して、ご自身を現しておられるのだと、主の栄光を見せて頂けたことに本当に感謝しています。

ある女性は「以前はいろんな団体や宗教の人たちがボランテ

ィアに来てくださったけど、未だに来てくださるのはクリスチャンの方だけだ」と、また別の女性からは「忘れないで来てくれたんだね」と言われました。主の愛は決して絶えることがないこと、私たちの主は諦めないお方であることをこの方たちを通して教えて頂きました。

震災以降、ずっと被災地に行きたいという思いがあり、今回自ら申し出たのですが、こんな私に何ができるんだろうと不安になり、直前になって今回の東北行きを諦めようとしていました。しかしイエス様は慈愛と忍耐と寛容をもって行くべき道、選ぶべき道を示してください、不完全な私を一度砕かれ、また立ち上がらせてくださり、東北へと導いてくださいました。それは愛する兄弟姉妹の祈りのサポートとチームメンバーの支えなしでは実現しませんでした。私たちを動かされる唯一の主イエス・キリストに全ての栄光がありますように。



TPKF 義援金の口座▶郵便振替口座 0790-7-46083 口座名義 TPKF 銀行口座 三菱東京UFJ銀行 出町支店 店番号506 口座番号0668994 口座名義 TPKF 置田信也

いまが輝くとき (インタビュー)

守山キリスト福音教会 杉江和雄さん



教会に通い、奉仕を始めるようになったいきさつについてお話しください。

杉江：2016年1月、私は67才になりました。私は、琵琶湖岸の農村で生まれ、家には仏壇、神棚があり

法事や神社のお祭りなどが年中行事で繰り返される中で育ちました。そんな中ですが、幾度か神様が私に係わってくださいました。

1968年頃(18才)、フィンランドより守山の地に開拓伝道に来られていたスリヤ先生ご家族とお出会いし、奥様の英会話教室に通ったことがあり、また、1986年には私が代表の設計事務所で現在の会堂建設の設計をさせていただく等、幾度か神様に導かれる機会がありながらも世間に流され年月を経ました。そして、2003年3月、54才で洗礼を受けるまでは、神様が義とされない罪のくりかえしの毎日でした。受洗後も、日曜礼拝では聖書を開きながらもあとの6日間は普通の生活でした。

2009年60才を機にギター教室に通い始め、2011年に教会のワーシップメンバーに参加することになりました。自分の子供より若いメンバーの中でギターとボーカルで奉仕させていただくことに戸惑いながらも、賛美奉仕に用いて下さった神様に感謝しております。賛美奉仕に用いられようになって私の生活も少し変化してきました。一日が神様中心の生活となり、賛美奉仕に備えて、祈りと準備(賛美曲の譜面の整理、音源の確認、練習等)と、そして聖書通読が日課になり、今は恵みの日々感謝して過ごしております。

これからのビジョンについてお聞かせください。

杉江：これからはこの恵みと感謝を次の世代へつなげていくためにも、次の世代を見守り、ともに歩いていけますよう神様に祈っております。また、賛美奉仕も神様が用いてくださる間は続けていきたいと願っております。いつも次の世代へつながらる夢を持ち続けたいものです。「神は言われる。終わりの日に、わたしの霊をすべての人に注ぐ。すると、あなたたちの息子と娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る。(使徒2:17)」

本日はありがとうございました。

(文：西川牧雄)

今が仕えるとき (インタビュー)

岐阜純福音白鳥教会 田口紘一郎さん



田口紘一郎さんは岐阜純福音教会の開拓宣教師であったピーター・ボルゲ師が岐阜県郡上市白鳥に開拓伝道をした時に運転手として仕えて一緒に伝道を始めました。ところがボルゲ師は1~2か月後にアメリカに

帰られました。それから45年間白鳥教会の信徒リーダーとして仕えています。

白鳥教会の信徒リーダーとして仕えるようになったきっかけは何ですか。

田口：1970年、ピーター・ボルゲ宣教師の導きで白鳥を中心としてコンパスを回すと50キロ以内に一つも教会がないということで伝道を始めました。

教会に仕えて恵まれたことは何ですか。

田口：45年近く通いましたが、今までに一人も教会に来られないことがなくて神様にいつも感謝しています。

現在、白鳥教会のお祈り課題は何ですか。

田口：隣の土地を買って大きい道から教会に入るようにしたいと思っています。

(文：辛海雄)



栄シャローム福音教会 小山英児

「わたしはただ神のしもべになりたい。ただそれだけです。」

これは、2013年天に召されたカルバリーチャペルのチャック・スミス師の言葉。神学生時代にこの言葉に出会ってからずっと、自分自身のテーマとして心に留めています。

それで、ルカの福音書17:10「『私たちは役に立たないしもべです。なすべきことをしただけです。』と言いなさい」というみ言葉を読んだ時、傍線を引き、「※人生のテーマ!」と書き込みました。これこそ「しもべの道」だと。

しかし、信仰生活を過ごす中でいつもそう思えたわけではありません。

使徒パウロは、イエス様が「ご自分を無として、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられた」(ピリピ2:7)ように「そのような心構えでいなさい。」(2:5)と言います。「ご自分を無として」と訳された言葉は「自身を注いだ」とも訳せます。イエス様のように他者のために自身を注ぐ「神のしもべ」としての心構えを、日々考えさせられています。

最悪の出来事を通して

金沢フィラデルフィヤ教会 宍倉博子



2014年の夏、主人と愛犬とともに、テーマパーク（愛犬も入園可）を訪れ開園と同時に入園、10分ほど歩いた時、100mくらい先を大きなセントバーナード犬が散歩しているのが目に入りました。（後で聞いた話、そのパークで飼われていた犬で、本来は開園前に散歩を終わらせる規則、しかも、直前にたまたま飼育員がリードを離してしまっていた。）その80キロもある犬が突然、ものすごい勢いで走ってきて4キロしかない愛犬に襲いかかりました。殺されると思った瞬間、私はシオンを高く抱き上げていました。するとその犬は私の左腕に噛み付き、しばらく離れませんでした。すぐに救急車で運ばれ、30針も縫う大怪我でした。私の左腕は3倍ぐらいに腫れ上がり、二日間痛みで眠ることができませんでした。イエス様の痛み苦しみに比べたら、となんとか我慢できたものの、眠ろうとするとあの大きな犬が襲ってくる映像が、走馬灯のように何度も写し出され、苦しくなって「主よ、助けて下さい！」と叫びました。次の瞬間、素晴らしい主の臨在に包まれ、イエス様の愛を全身で感じ、涙が溢れ出、恐怖の映像が私の脳裏から消滅していました。この事を通して私の信仰生活は新しくされ、いつも聖霊に満たされて祈れるようになりました。すべてのことを感謝いたします。

洗礼の決心

岐阜純福音教会 藤田彩子



私が毎週教会に通うようになったのは今から3年前ですが、それ以前から主は私を導き、様々な場面で助けてくださっていたと思います。幼稚園も短大も職場もキリスト教主義のところでした。厳かなクリスマスの雰囲気は今でも覚えています。「あんなに小さなときから、種が蒔かれていたんだ。」と幸せな気持ちになります。

短大生の時には短大が所属する教会での年末奉仕等に参加しました。教会の方々がとても温かかったのが印象的です。卒業後、子供関係の仕事に就いてからは、喜びもたくさんありましたが、試練の連続でした。子供、同僚、

なにより自分の成長について。そのたび相談し助けて頂いたのがクリスチャンの上司でした。彼女はたびたび私に、彼女自身の証しを話してくれました。彼女との仕事を越えた個人的な交わりの中にはいつもイエス様がおられたのを感じていました。これらの体験を通し、きちんと教会に通いたいと思い、同僚のいた今の教会に繋がりました。そして洗礼について学ぶなかで、イエス様がすでにこんなにも大きな愛を示して下さい、助けて下さってきたのだから、受洗しない理由はないと決心しました。神様の愛を明確に受け取るようになったことで、日々感謝が増えました。これからも私のできることで神様に愛と感謝を捧げていきたいと思えます。

献身の証

京都キリスト福音教会 吉田啓示



私はクリスチャンホームに生まれ、幼い頃から神様を信じてきましたが、大学へ進学するために両親を離れてから自分の罪深さを知り、こんなに罪深い私が赦されるはずはないと思うようになりました。私は毎日、見捨てないでくださいと神様に祈りました。その後、私はアメリカへ留学し、同じ授業を選択したグレッグというクリスチャンの青年と出会いました。彼を通して私は自分の罪を示され、イエス様が私の罪を赦すために十字架に架かってくださったことを知りました。イエス様が私の代わりに父なる神様に見捨てられてくださったので、私は見捨てられることがないことを知ったのです。それから私は教会の若者達と共に大学内で伝道するようになりました。私は目の前で何人もの若者がかつての私と同じように罪深い生活の中にあっただのに、イエス様を信じ、神様のもとへ帰る姿を目撃しました。私はこの悔い改めの瞬間にもっと立ち会いたいと思うようになりました。また、その頃私はある兄弟から「信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです」という御言葉について教えられ、この福音にこそ人を救う力があるのだと確信しました。この福音をこれからもっと多くの人に伝える働きをさせていただければ幸いです。

TPKF 全国各地の情報・報告

〈イースト〉新年聖会

例年は1月2日に新年聖会を持ってきましたが、今年は2日が土曜日ということで、成人の日である11日に御殿場純福音キリスト教会にて持たれました。成人の日ということで、成人を迎えた兄弟のための特別な祝福の祈りの時がもたれ（表紙写真）、イースト諸教会の先生方からはご挨拶と2016年のみことばが分かち合わせ、ともに各教会のために祈る時を持ちました。年末年始のご奉仕のために短期帰国中であつた稲福薫先生が賛美リードをしてくださり、主のご臨在の中で礼拝し、触れられる時でした。

メッセージは綾部キリスト福音教会の朝子孝一牧師がローマ書10章1～15節のみことばから「福音」について語っていただきました。私たちが福音をいただいていること、神様との変わらない契約が結ばれていることを再確認すると同時に、まだ福音を知らない方々、神様との契約を結べていない方々への福音宣教のチャレンジをいただきました。

（横須賀クリスチャンセンター 芳三容子）

〈キリスト福音〉新年聖会



道本純行師

1月11日（月・成人の日）、「2016キリスト福音教会 新年聖会」が京都市伏見区のパルスプラザ稲盛ホールで開催されました。講師に八尾福音教会の道本純行牧師をお迎えしました。道本師には聖会テーマ「聖霊に励まされて前進しよう」（使徒9：31）をもとに午前の聖会(I)と午後の聖会(II)の2回のメッセージをしていただきました。道本師のソフトな語りくちに聴衆一同肩の力を抜いて聞くことができました。聖会(I)ではヨハネ15章からイエス様にとどまることの大切さが語られ、聖会(II)ではヨシュア5～6章から主の御言葉に聞き従うことの重要性が語られました。

また「次世代による証しと賛美」の時間があり、青年たちの証しと賛美と子供たちによるダンスもあり、世代を超えて主をあがめる時間となりました。聖会には約210名の参加者があり、参加者一同、主の臨在の中で大いに祝福されたことを感謝致します。（杉山睦生）

〈FCMF〉子どもクリスマス大会報告

神戸フィラデルフィヤ教会

あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ。（伝道の書12章1節）

私たちは、子どもとご家族の救いが大切と信じ、公園伝道を続けています。20年前に起こった阪神淡路大震災では教会の近辺の多くの家が倒壊し、転居者が多



く、子どもたちの姿があまり見えなくなりましたが、復興にともない子どもたちが公園で遊んでいる姿を見るようになり、紙芝居での伝道で子どもたちが教会に来るようになりました。

子どもクリスマス大会を12月19日（土）午後開催。期待していた子供たちは集まりませんでした（後で聞くと集団風邪にかかったそうです）が、出席された子どもも大人も、キャンドルサービス、腹話術、サンタクロースのプレゼントなどで、楽しく救い主のご降誕をお祝いすることができました。

奉仕者の反省会では、子どもたちの意志による自由な行動が、家庭や社会環境によって厳しく制限されている現在、集まりにくい子供たちに、ご家族の方々を含めてどのような伝道を起こすかの検討の必要性を協議しました。（大嶋善直）

関西聖書学院「共に汗を流す喜び」

1人で動かせない石を力合わせて動かす喜びは格別なものです。KBIの働きは広がり続けています。創立55年になるKBIの一年以上の修了生、卒業生は600名に届こうとしています。そのほとんどが教職もしくは教会の中心的リーダーとして主に仕えています。日本の教界全体から見ても重要な役割を担いつつあります。NRAでは委員長も副委員長もKBI出身者ですし、評議委員の中にも数名が名を連ねています。福音派でも評価されはじめ、多くの場で協力できています。海外派遣の宣教師は従来在原師、高橋めぐみ師が先んじてくださいましたが、04年に始まったMTCコースを通して今では20名以上の宣教師が世界各地で活躍しています。そして両輪の如くに前進を期待するのがCPCです。教会開拓・増殖・活性化を期待し、刺激するコースです。2016年も一緒に汗を流させてください。（学院長 大田裕作）

■消息

- 須磨自由キリスト教会 池田孝志師 2015年9月牧師退任
- 瀬戸サレム教会 キーステン・ハーゲン宣教師 2016年1月10日 召天(享年93才)

■超教派情報

JPC ▶ 研修会「女性のためのミニストリー」2016年5月26日 講師：日本オープンバイブル墨田聖書教会 石川葉子師 日本アグロー会長 石倉範子氏 場所：日本アッセンブリー教団本部(東京・駒込)

■第53回 T P K F 全国大会

2016年5月3日～5日 横浜研修センター (横浜市金沢区福浦、横浜シーサイドライン・産業振興センター駅前)

第53回TPKF単ペン大会プログラム

	5月3日(火)	4日(水)	5日(木)
6:30		早天祈禱会	早天祈禱会
7:30		朝食★	朝食★
8:30			8:30~9:30 事務集会 (教職者のみ)
9:00		合同祈禱会 年代別	
9:30			
10:00			聖会★ KFK担当 メッセージ:置田信也師 ※宣教師報告 キッズ集会★ 席上献金あり
11:30		※各コースで昼食 フリータイム 1. 横浜に来たら、コレっ!元町・横浜中華街散策コース 2. みなとみらいコース 3. 軍艦の町・横須賀コース 4. 日本で初めてのプロテスタント教会を巡るコース 5. 施設にいながらにしての体験コース 6. ユースプログラム 7. フリープラン(お弁当あり 1,000円) 8. フリープラン(お弁当なし) ※詳細は別紙参照 ※申し込み後のコースの変更は基本的には出来ません	昼食★
15:00	受付		TPKF大会事務局 秦野クリスチャンセンター 0463-75-2700 詳細はTPKFのホームページ、 facebook「単立ペンテコステ大会」 をご覧ください。
16:00	16:00~17:00 準備賛美		
17:00			
17:30	夕食★	夕食★	
19:30	聖会★ イースト担当 メッセージ:中見透師 キッズ集会★ 席上献金あり	聖会★ FCM担当 メッセージ:小山大三郎 ※新教職者紹介 キッズ集会★ 席上献金あり	

単立ペンテコステ教会諸教会(名簿順)

北広島自由キリスト教会 / 房総中央キリスト教会 / 大佐和キリスト教会 / 町田純福音教会 / 鶴見純福音教会 / 横浜フィラデルフィヤ教会
 磯子フィラデルフィヤ教会 / 金沢フィラデルフィヤ教会 / 横須賀クリスチャンセンター / 保土ヶ谷純福音教会神の愛チャペル
 大和あがないの丘キリスト教会 / 戸塚カルバリ純福音教会 / 栄シャローム福音教会 / 伊勢原聖書キリスト教会 / 秦野クリスチャンセンター
 北アルプスグローバルチャーチ白馬キリスト福音センター / 南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会 / 甲府カルバリ純福音教会
 富士吉田純福音キリスト教会 / ハーベスト・チャーチ山梨 / 裾野純福音キリスト教会 / 御殿場純福音キリスト教会
 富士純福音キリスト教会グレースチャーチ / 小松ベタニヤ福音教会 / 小松南部キリスト教会 / ホープハウス / 福井自由キリスト教会
 文教ゴスペルセンター / 松岡福音教会 / 丸岡福音キリスト教会 / 勝山自由キリスト教会 / 三国自由キリスト教会 / 敦賀自由キリスト教会
 武生自由キリスト教会 / 金津福音キリスト教会 / 小浜キリスト福音教会 / 小浜キリスト福音教会三方伝道所 / 高富グレイスチャペル
 岐阜純福音教会 / 岐阜純福音白鳥教会 / 岐阜純福音大森チャーチ / 大垣インターナショナル・フルゴスペルチャーチ / 岐阜ライフチャーチ
 美濃グレースチャーチ / 岐阜中央チャペル / 本地ガ原自由キリスト教会 / 瀬戸サレム教会 / 滋賀キリスト福音教会 / 守山キリスト福音教会
 大津韓国福音教会 / 大津キリスト福音教会 / 田上キリスト教会(大津キリスト福音教会伝道所) / 甲賀キリスト福音教会 / 水口キリスト福音教会
 甲西キリスト福音教会 / 雲井キリスト福音教会 / 米原キリスト福音教会 / 綾部キリスト福音教会 / 亀岡ベタニヤ教会
 京都キリスト福音教会 / 山科キリスト福音教会 / 深草キリスト福音教会 / 宇治キリストペンテコステ教会 / 木幡キリスト福音教会
 大阪キリスト福音教会 / 須磨自由キリスト教会 / 神戸フィラデルフィヤ教会 / 南さつまキリスト福音教会

以上の教会に1部以上を送っています。私たちの願いはすべてのTPKFの信徒が一部ずつ持つことです。

ご意見、ご感想は次のメールアドレスをお願いします。tpkf.pentecost@gmail.com TPKFの公式ホームページ <http://www.tpkf.org/>

